



平成30年8月14日

各位

株式会社 フィスコ  
代表取締役社長 狩野 仁志  
(JASDAQ・コード3807)  
問い合わせ先：  
取締役管理本部長 松崎 祐之  
電話番号 03(6757)8570

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年2月14日に公表いたしました平成30年12月期通期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成30年12月期通期業績予想の数値の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,565	949	869	590	円 銭 15.52
今回修正予想 (B)	12,358	50	△666	△328	△8.62
増減額 (B - A)	△1,206	△899	△1,536	△918	
増減率 (%)	△8.9	△94.7	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年12月期)	14,620	7	△59	636	16.73

※「EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額(販売費及び一般管理費)」は、290百万円を見込んでおります。

## 2. 修正の理由

上期は、仮想通貨への投資を事業目的とする一部連結子会社における仮想通貨売却益及び仮想通貨評価益が予想を下回り計上されていることから売上高は当初予定より減少しました。

それに伴い営業利益も減少しております。

また、経常利益につきましては、平成30年4月13日付「当社及び当社連結子会社における営業外収益及び営業外費用の計上並びに当社連結子会社の個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ」において公表のとおり仮想通貨売却損201百万円及び仮想通貨評価損192百万円を計上したこと、平成30年7月11日付「営業外費用の計上に関するお知らせ」において公表のとおり仮想通貨評価損189百万円を計上したことなどに伴い経常損失997百万円を計上いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、平成30年6月1日付「当社及び当社連結子会社における特別利益の計上に関するお知らせ」において公表のとおり特別利益356百万円を計上しているものの、結果として親会社株主に帰属する当期純損失467百万円となりました。

下期においては、インターネット旅行事業、情報サービス事業における企業IRサービス分野などにおいて売上げが増加する見込みであるほか、第3四半期以降における仮想通貨売却益を考慮し利益が増加する見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上